



小学校4～6年生向け 年 組

(208)



④ 巴波川で救出されたナマズ⑤ 元気になったナマズを放流する船頭ら

助けた ① 巴波川に放流

栃木・蔵の街遊覧船船頭ら

民話通り「

②

」ある？

2024年3月9日付・下野新聞23面

水槽で飼育、元気に

【栃木】市中心部を流れる巴波川で先月、NPO法人蔵の街遊覧船の船頭が弱ったナマズの幼魚1匹を助けた。巴波川ではナマズの恩返し民話が伝わり、同遊覧船サブマネジャー佐藤雄造さん（70）らが水槽で飼育していた。ナマズは無事に元を取り戻し、船頭らによって3日に川へ放流された。（橋本裕太）

ス 巴波川では、突然ナマズの大群が現れ、子どもを救ったという。民話では昔、日照りが続いて川の水が干上がり、息絶えそうなナマズ1匹を農民が助けた。その後、大雨が続いて川が洪水し、農民の子どもが濁流にのみ込まれ、人から受けた恩の大切さを伝える話で、市中心部の幸来橋付近にはこの民話を伝える像がある。遊覧船の船頭の法被にもナマズのイラストがデザインされ、観

民話を伝えるナマズの像



しを期待していた。

光客らに民話を紹介している。ナマズは体長約25センチ。遊覧船の船頭が2月9日、巴波川支流の工事現場で見つけた。土のうでせき止めて、民話を知っていた船頭は、水槽に入れて餌を与え、水槽に入れた餌を食べて、動きが鈍かったが、水槽の中で泳ぎ回れるほどに回復した。3日は遊覧船の乗客らが見守る中、ナマズを放流した。見送った佐藤さんは「私たちにとても大切な生き物。飼育していたので寂しさもあるが、元気になって良かった」と民話のようなナマズの恩返しを期待していた。

記事は加工しています

【言葉の意味】

- ・幼魚…卵からかえって間もない魚のこと。
- ・生息…ある場所に住むこと。動物などが繁殖すること。
- ・濁流…にごっている水の流れ。大雨の後の激流など。
- ・法被…日本の伝統衣装で、祭りなどの際や職人などが着用する印半纏のこと。
- ・土のう…土を入れた袋。陣地や堤防を築くときに用いる。
- ・船頭…櫓などを使って小舟を操る人。かこ。

設 問

【1】見出しの①と②に入る言葉を記事からさがして書きましょう。

①（ ） ②（ ）

【2】「巴波川」の読み方を調べて書きましょう。

（ ）

【3】次の文章は巴波川に伝わるナマズの恩返しの民話です。（ ）に入る言葉を記事からさがして書きましょう。

昔、①（ ）が続いて川の水が干上がり、息絶えそうな②（ ）を農民が助けた。その後、大雨が続く、農民の子どもが濁流にのみ込まれると、ナマズ

の③（ ）が現れ、④（ ）を救った。

【4】次の文章は巴波川で最近起きた出来事の要約です。（ ）に入る言葉を記事からさがして書きましょう。

①（ ）月②（ ）日、③（ ）川支流の工事現場で、遊覧船の④（ ）がもがき苦しんでいるナマズを⑤（ ）した。しばらく、水槽で⑥（ ）し、3月3日、ナマズを⑦（ ）した。

【5】ナマズの恩返しの民話を伝える像はどこにありますか？

（ ）

【発展課題】自分の住んでいる地区に伝わる民話について、調べてみましょう。